

【薬学部薬学科】

卒業認定・学位授与の方針[ディプロマ・ポリシー]

実力主義の伝統を堅持しつつ、高い専門性と倫理観、国際的な視野と問題を研究に結び付けることのできる能力を兼ね備えた薬剤師の育成という、本学科の教育目標に沿って編成された授業科目を履修した学生に対して、卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与する。

1. 自然・人間・社会に係る幅広い教養を修得し、専門分野の枠を超えて横断的にものごとを俯瞰できる能力。
2. 医療に携わる者としての高い倫理観と使命感。
3. 薬剤師の職能の基盤となる専門的知識と関連する技能に加えて、それらを発揮する者としてふさわしい態度。
4. 医療に携わる者として、修得した専門知識や教養をもとに、他者とコミュニケーションをとり、国際的な視野をもって活躍できる能力。
5. 最先端の医療に関する知識や情報を幅広く取り入れた上で、問題点を発見し、それを解決に導くための方法を立案し、実践しうる能力。

教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]

1. 薬剤師の職能の基盤となる専門的知識と関連する技能に加えて、それを実践する資格をもつ者としてふさわしい態度を習得することを通じて、問題を研究に結び付けることのできる能力を兼ね備えた薬剤師を育成するという教育目標を実現するための学士の教育課程を編成する。
2. ①薬剤師としての心構え、②患者・生活者本位の視点、③コミュニケーション能力、④チーム医療への参画、⑤基礎的な科学力、⑥薬物療法における実践的能力、⑦地域の保健・医療における実践的能力、⑧研究能力、⑨自己研鑽、⑩教育能力という薬剤師に求められる基本的資質を身につけ、適正な薬物治療に貢献するとともに、医療にまつわる様々な事故を防ぐための方策を立案し実行しうる力量をもつ人材を育成するための教育を実践する。
3. 段階的な知識の修得を図るため、一般的素養を深めるための「一般教養科目」、薬学専門分野の基盤となる「基礎科目」、薬学の専門家としての進路に必要な能力を養うための「専門科目」の3種類の授業科目を体系的に配置する。
4. 「一般教養科目」では、自然科学・人文科学・社会科学の各分野を広く俯瞰した上で、人命を最大限に尊重することのできる倫理観と豊かな人間性を育むことを目的とした人間科学分野の教育を展開するとともに、グローバルに活躍しうる人材となるための語学力・コミュニケーション能力を身に付けることを目的とした教育を実施する。
5. 英語教育においては、少人数クラスや習熟度別クラスを取り入れ、学習効果を高める主体的な学びを導く教育を行う。
6. 「基礎科目」では、初年次より4つの学問領域（創薬科学、生命薬学、環境・衛生薬学、医療薬学）のいずれにも共通した基礎薬学に関する知識と技能を修得するための授業科目を配置した上で、さらに「専門科目」との接続を図る。
7. 「専門科目」では、講義の他に、多くの実験、演習、実習に加えて、医療現場での実務実習等の授業科目を重点的かつ効果的に組み合わせることで上記の4つの学問領域に関する知識と技能を深化させるとともに、総合的な学問としての薬学を探究していくための態度を身に付けることを通じて、実践能力、問題解決能力、及び優れた人間性を兼ね備えた人材の育成を図る。
8. 「一般教養科目」「基礎科目」「専門科目」では、薬学分野に応じたキャリア教育、倫理観を養う内容を含む科目を配置する。
9. 学士課程の集大成として、卒業研究科目を配置する。
10. 薬学という専門分野を超えて、広く関心のある知識を修得できるよう、他学部・他学科において開講されている科目を履修しうる制度を設けることにより、幅広い視野を持って新しい分野へ挑戦するための学習ニーズに応える教育課程とする。

入学者受入れの方針[アドミッション・ポリシー]

建学の精神と実力主義の伝統に基づく、本学の教育研究理念のもと、

1. 高等学校段階までの基礎知識と思考力、判断力、表現力に加えて、人類の健康を守ることを通じて社会に貢献しようとする志を備え、専門分野の学習に必要な学力を持つ人。
 2. 医療現場で活躍することを通じて、広く国民の健康と福祉を守ろうとする意欲と、将来広く国内外で国際的な視野を持って活躍するための基礎的な素養を身に付けている人。
 3. 自らの考えを表現する力を備え、主体的に多様な人々と協働して学ぶ意欲のある人。
- を多様な選抜方法により広く求める。

【入試形態ごとの入学者に求める能力と、その評価方法】

(A 方式入学試験)

幅広い科目に対する基礎知識と思考力、判断力をもつ人を、大学入学共通テストの得点を用いて選抜する。

(B 方式入学試験)

学科の特性に見合う基礎知識とそれを応用する能力及び思考力、判断力を持つ人を、独自の学力試験（数学、英語、化学）の得点を用いて選抜する。

(C 方式入学試験)

理数系科目を中心に幅広い基礎知識と思考力、判断力をもつ人を、本学独自の学力試験（数学、理科）と大学入学共通テスト（国語、外国語）の得点を用いて選抜する。

(グローバル方式入学試験)

本学の特性に見合う基礎知識と思考力、判断力及びコミュニケーションスキルとしての英語力を持つ人を、本学独自の学力試験（数学、化学）と英語の資格・検定試験の成績を用いて選抜する。

(学校推薦型選抜（指定校制）)

高等学校段階までの基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、自ら学ぶ意欲を持ち、かつ、将来の医療の担い手となるにふさわしい素養を持つ人で本学を第1志望とする人を、書類審査、面接、口頭試問により選抜する。

(総合型選抜（英語資格検定＋特定教科評価）)

本学の特性に見合う基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、自ら学ぶ意欲と国際的な視野を持つ本学を第1志望とする人を、書類審査、英語の資格・検定試験の成績、小論文、面接、口頭試問により選抜する。

(帰国生入学者選抜、外国人留学生入学試験)

学問に対する姿勢や考え方、海外で身に付けた能力を持ち、自ら学ぶ意欲のある人を、資格・検定試験の成績、小論文、面接等により選抜する。